

生徒感想

中学校1年 i

私は、小学生のころから人権について考えるのが苦手でした。どうしても、みんなが気をつけて生活すればいいことだと思い、考えるのを止めてしまっていたからです。それで私は、他の人の意見や体験などを聞き、人権への意識を深めたいと思い、この会に参加しました。

私はこの会に参加して、自分と少し似ている意見や、まったく違う意見、体験などを知ることができました。特に、LGBT の話し合いで聞いた他校の生徒の体験が心に残っています。その生徒は友達に自分は同性愛者だと相談したところ、相手にされず「きもちわるい」と言われたそうです。私も両性愛者ですが、これまで何も言われずに過ごしてきました。同じ中学生でも被害にあっている人がいると知り、私にもできることがあるのではないかと考えるきっかけとなりました。

また、制服により自分を制御してしまっている人もいるということを知り、周りの環境を変えていくことも大切だと思いました。

私はこの会で、様々なことを学ぶことができました。これからはもっとこの会が残せるように、この会のことを広めていきたいと思いました。そして、もっと人権意識が広がっていったらいいなと思いました。

中学校3年

初めて参加させていただきました。先生に参加してみないかと言われたのがきっかけでしたが、色々な思いをもった同じ中学生のみんなが、堂々と意見を発表したりしているのが、すごいことだと思いました。自分は最後まで自分から手を挙げて発表することができませんでした。色んな人の理解をするための視野が広がりました。グループ討議では少し意見を言うことができたのでよかったです。学校では、言いた

くても言い出しにくい雰囲気但至少でもなくせるよう今度こそ自分も勇気を持って自ら発言したいです。

中学校3年 m

私は初めてこの集会に参加しました。最初はすごく発表するのをためらっていたけど、周りの人の意見を聞いて自分も言いたいと思い、たくさん発表ができて楽しかったです。

部落差別、LGBT のことの作文を聞いて、自分がしてきた言動を改めて考えないといけないと思い、考えると自分の気づいていなかったところが繋がっているのではないかと不安になりました。自分が行うことに責任を持ってしていかないと簡単に差別になってしまうことを学びました。

発表するときは上手にできなかったけれど、周りの人が最後まで聞いてくれて話しやすかったです。そして初めて LGBT のようなことを深く考えられました。LGBT でたくさんの悩んでいる人がいることも知り、もっと自分の考え方を広くして、受け入れられるようにしようと思えたとし、その人の考えや怖いと思っていることも知れて良かったです。ずっと残っている部落差別の話も他校の人の意見で“差別がなくなる、なくなる”の話も、地域の人のことも聞けてたくさんの発見がありました。

中学校3年 k

他校のたくさんの仲間の意見を聞いて、それに似た意見でつなげることもあれば、全く違う反対の意見でつなげていることもあり、様々な考え方を知ることができました。その意見を通して考えを深めていくことができました。

発表することがあまり得意ではなくて、なかなか発表できなかったけど、手を挙げようか迷っているときに、実行委員の松茂3年aさんとbさんがやさしく勇気を出させてくれるような感じで「手挙げていけるよ」って言ってくれたので、手を挙げることができました。発表した

あとには大きな拍手と共に、aさんとbさんが、「発表してくれてありがとう」と笑顔で言ってくれたので、とてもうれしくて、もう一回発表しようと思いをもらえました。

人それぞれ価値観も違うし、意見も違うけど、そのいろいろな違う意見を聞いて、自分の予想をはるかに上回るほど違う意見も多くて、その中でたくさん意見を身につけることができましたので、大麻中での人権学習で役立てたいです。発表もきちんとできるように努力していきます。

発表する勇気をくれたaさんとbさんに、「ありがとう」と一言伝えたいです。本当に心の底から感謝です。

中学校3年 a b

大勢の人の前で作文を読むのは緊張しましたが、自分の意見や思いを前で伝えられたので良かったです。また、自分の作文についてしっかり考えて、みんなの思いを聞いてうれしかったです。家族や友達と部落差別について話したいと思いました。それぞれの生き方や個性を大切に、ありのままの自分に自信を持つことができました。そして、多くの他校との交流が初めてだったので、良い経験となりました。

僕は人前で意見を言うのが苦手ですが、この集会に参加したことで勇気を持ってました。差別がなくなるかなんかという話が出ていましたが、僕はなくなると信じて生きていこうと思います。差別心は誰にでもあるので、とても難しいことですが、祖父の歌や丸岡さんの詩を周りの人に伝えたりして、自分にできることをしたいです。ギターを一生懸命練習して、弾けるようにしようと思います。

中等教育学校3年 a c

今の世の中にはたくさん間違った常識があります。だから人権教育をしっかりして、まずは、それが間違っていると認識することが大切だと思います。そして、人権教育で学んだことを、自分だけのものにするのではなく、周りの人た

ちにしっかり伝えていくことも大切だと思います。

また、LGBTなどの性的マイノリティの人たちについては、身長が高いとか「ショートカットが好き」という感覚みたいに、ひとそれぞれの特徴や趣味、感じ方が違うのと同じかなと思います。それなのに、周りの環境、人の目などからカミングアウトできない人が多いと思います。そのような「変だ」「気持ち悪い」などの差別的でかたよった見方を変えていくべきだと思います。そのためには、やはり話し合いが必要です。性別とか好きなタイプなどは、その人自身と接したりつきあったりしていくとき、何も関係がないことだと思います。

中等教育学校3年 a d

私は、本大会で人権作文を読みました。あらためて振り返ってみると、思うことや考えることがたくさんあります。今も、勉強しなければとわかっているのに、十分にできていない自分が嫌になることがあります。また友達の容姿や社交的な性格と自分とを比べて、気持ちが下に下にと沈んでいくことや、まわりの空気を読みすぎて、その空気に押しつぶされそうになることもあります。それでも、作文で書いたように、「自分は自分でいいんだ」と思うこともできます。これからも悩んだり落ち込んだりすることがあるかもしれませんが、自分の心に素直でいたいと思います。

本大会では、私の作文に対して多くの人が意見を返してくれました。私が自分の気持ちを伝えたことで、誰かの気持ちが少しでも軽くなったのなら嬉しく思います。たくさんの温かい言葉をありがとうございました。

中学校2年

「哲ちゃんの生き方を学んで」を聞いて、自分のことは自分が一番わかっているけど、哲ちゃんの生き方を取り入れることによって自分のことをより深く知ることができたり、そこから

差別について考えたりするのがいいなと思った。人権問題は、自分のこととして考えることによって、初めてきちんと考えていることができているのだと思う。

中学校3年 p

僕は今回の「人権を語り合う中学生交流集会」で有意義な時間を過ごせたと思います。学校などで友達に話をし、「差別はダメ」ってことがもっと広がればいいんだろうけど、たぶん僕にはできないと思います。だからせめて、今日聞いたことを自分の心に留めておいて、今後いじめられていたり、差別されたりしている人に出会ったときは、手を差しのべてあげられるようにしたいです。

それと今回の交流集会で僕は思ったことがあります。それは、全体会Ⅰのときにあった、差別がなくなるかなくならないかということです。僕はなくなると思います。なくさないといけない、だけど一人でも差別をし続ける人がいれば、なくなると思うからです。全員同じ考えにすることはできないと思っているので、たぶんなくなると思います。けどなくなるからいいっていうのじゃなくて、少しでも減らしていけるような努力をしたいと思いました。

中学校2年 f

まず、とても楽しかったです。他校の子たちや同じ学校でも話すことがなかった先輩方の意見を聞いて、逆に自分の話を真剣に聞いてくれたことがとても嬉しかったです。

部落に関することを私は本当に何も知らないと思います。でも、自分では、授業や聞いた話をもとに、十分に学習していた気になっていました。だから、もっと部落差別について学習してほしいという意見が出たとき、少しムッとしました。でも、本当に何も分かっていないのなら、「もっと知りたい」と心から思いました。自分で紙にまとめて、まず知っていることの資

料を作ってみようと思います。

そして次に「性」についての話題が出ました。男の人がスカートをはいていたら驚いてしまうという人が結構いました。男の人はズボンをはくという「常識」があるからでしょうか？その「常識」は間違っていると感じます。今、「ジェンダー平等」を目指している社会で、その考えは違うなと感じました。小学生のときから、この学習をしていれば、少しは変わっていたのかもしれない。色々な人に理解がある社会になればと願っています。この会に参加できて良かった！

中学校2年 g

作文を読み終わって、「どうして自分を制限しているの」と問われたとき、正直とても怖かったです。「誰かに何かを言われるのが怖いから」とは言ったけど。。。分からないんです。知らないうちに自分を制限しているんです。実はもう一つ理由があって…。小さい頃いじめられていたこともあって、僕、人間不信なんです。それを踏まえさせてもらおうと「単純に人に相談ができないから」も、その理由に含まれるかも…？今さらすぎますよね？すみません。実を言うと、聞いてくださっている皆さんの目がすごく怖かったです。「こんなやつなんだ」とか思われている気がして、ただの被害妄想だけど気が気じゃなくて…。意見交換のとき、泣きそうでした…。でも皆さんが優しく受け止めてくれたので、それがすごく嬉しかったです。

去年は人数が少なくて発表ができたけど、今回は発表ができなくて悔しかったです。次またあれば(あるはずだけど!!)、2回は発表したいです！貴重な時間とたくさんの意見をありがとうございました！

中学校3年 b

私はこの交流会に参加するのは2回目で、コロナウィルスで開催されるのか心配でしたが、また同じようにみんなと集まれてとても嬉しく

思いました。

去年は1回も発表せず自分のことを語ることができなかったのが、後悔していました。ですが、今回は前回の反省を生かし、友達と一緒に手を挙げしっかりと自分が思っていることを正直に語ることができました。

1回発表すると心の中がずっと軽くなりとてもスッキリしました。中学生生活最後の思い出の1つになりました。この集会に来ることはもう無いかもしれませんが、違う所の集会でも人権についてみんなと語り合いたいと思います。この集会で経験したことを絶対に忘れません。道徳の時間でも自分のことを発表できたらいいと思います。

中学校3年 x

学校で行う人権学習は、一つの意見をいろいろな方向から見て勉強していた。けど、人権を語り合う中学生交流集会では、複数の意見を出し、それを比べて違うところが分かったうえで、どちらの意見が自分に似ていて、社会的に正しい答えなのかを探した。僕もはじめは、zさんと同じような考え方をしている、それが「LGBT」の差別になるとは知らなかった。この集会で、知らず知らずのうちに差別していることが一番いけないことだと学んだ。たくさんのが知れたいい集会だった。

中学校3年 z

この交流集会を通して、僕は人権のことをすごく考えさせられました。自分が「こうだ」と思った意見でも、他の子が「こう思う」と言えば、「なるほど、そんな意見もあったか。」と心を動かされることが何度かありました。だから、差別をなくすなんていう大きなことを言うよりも、こうやって一人一人が思っていることを言い合い、意見を交換することがすごく大切だなと思いました。そうすることで、差別をなくすことに繋がると思います。いい交流会でした。

中学校3年 a

2年間、この集会に参加させてもらって、とても楽しかったです。2年生のとき、初めてこの集会に参加したときには、緊張しすぎて、あまり発表できなかったのを覚えています。でも、本大会のときは、数回発表することができて、声も震えていたし、まとまったことは言えなかったけど、会場にいたみんなが真剣に聞いてくれたから、来年はもっと発表したいと思えました。

3年生になって、実行委員長をやりました。去年の実行委員長さんは、とても上手にまわっていたから、正直とても不安でした。でも、自分たちで集会をつくっていく楽しさを知ることができました。友達もできたし、いろいろな意見を聞くこともできたし、この集会に参加できて本当によかったです。

今回の集会で一番心に残ったのは、「LGBT」のことでした。私自身、「LGBT」のことを知る前は、差別していた自分がいました。読んでくれた作文を聞いて、今の社会でカミングアウトすることの難しさを知ることができました。日本には、ジェンダーに関する教育の時間があまりないと思います。私も中3で初めて「LGBT」に関する授業をしました。中3にもなると、だいたい考え方というのが完成しています。だから「LGBT」を中3で初めて聞いた人が受け入れられないのも分かります。私は、いろいろな人権問題に小学生の頃からふれておくことが大事なのではないかと思います。

今年の大会は、コロナの影響で実行委員会の回数も少なくなってしまったので、とても残念です。人権問題について知れば知るほど、みんなの意見を聞けば聞くほど、人権学習っておもしろいし、楽しいなと思います。これからもずっとみんなと語りたいです。

中学校3年 ae

人権問題について深く考えることができた1日だった。作文を発表して緊張したけれど、自

分の考えをしっかりと発表できたと思う。また、たくさんの意見を聞いて、考え方の視野を広げることができた。

部落差別を話題とした意見交換では、「今でも残っていることが悔しい」という大麻中の a b さんの言葉から、どんどん意見が出てきて、多くの学びを得られたと思う。そして、LGBT をテーマとした意見交換では、z さんと g さんの作文から、性のあり方について深く学ぶことができた。安心してカミングアウトできる環境をつくることで、これからの社会の課題になることを学んで、自分の行動を見直すきっかけになった。

今日学んだことは、忘れずに心にとめておきたいと思う。そして、差別がなくなることを信じて、これからも自分事として人権問題について考えたい。

中学校3年 d

これまで学校で行われてきた人権学習には、生徒間での意見の交換や追求が不十分だと感じていた。そのため、今日の交流集会は、とてもよい機会となった。

今日の交流集会に参加していた人たちは、皆それぞれ深い考えをもっており、その中には、自分が共感できるものもあれば、全く違ったものもあり、今まで他の人の意見を聞くことがなかった自分にとっては、とても新鮮だった。

私は主に LGBT についての話をした。今まで他人にあまり話さなかった自分の話を、多少抵抗はあったものの、頑張ってみて。そうしたらいろいろな人が、共感の意見や自分の実体験などを話してくれた。誰一人として、私を笑ったり、嫌がったりする人はいなかった。私は、その反応に驚きながらも、その雰囲気感動し、自分に自信が持てた気がした。このような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

中学校2年 a f

私は、とても緊張していました。ですが、実際に参加してみると、思っていたより楽で驚きました。みんなたくさん発表していてすごかったです。いろんな学校の人たちに会え、意見を聞けて、とても楽しく、ためになる時間だったと思います。

中学校2年 t

私はこの集会に来て2回目になりました。今年副実行委員長として参加しましたが、とても緊張しました。参加したみんなと語り合った時も、いろいろな意見が聞けました。「こういう考え方はダメなのかもしれない。じゃあ、もっとこういう考え方をすれば変わっていくかもしれない。」と考えさせられ、自分にとって刺激を感じた会になりました。部落差別や LGBT の差別以外にも、まだ、たくさん問題があると思います。そのためにも、まず、私たちは、いろいろな考え方の「見直し」が必要だと思いました。

中学校1年 h

私はこの交流集会に初めて参加しました。今回は発表することはできませんでしたが、いろんなことを学びました。1年生での交流集会は終わってしまいましたが、1番印象に残ったのは今日の本大会です。今まで中学生同士が語り合ってきましたが、本大会では大人の方々も参加してくださいました。やっぱり大人の方々は自分の意見と違って「そういう考えもあるんだ」と人それぞれ考えは違うということを学びました。

また今日の作文発表の中で、八万中の g さんの発表が心に残りました。発表の内容は常識にとらわれず、自分がなりたいものになるという発表でした。でもそれは周りが気にならないのかと聞くと「何か言われるかもしれないけれど、それに耐えることで周りは変わってくれるのではないか」と答えてくれました。私は自分のな

りたいものやりたいことが、周りを気にしてしまっただけでできなかったということが、今までにくっつきがありました。それが当たり前と思っていたけど、gさんの発表を聞いて、私は周りに合わせていたということを知ることができました。gさんには本当に感謝したいです。ありがとうございました。

中学校1年 c

私はこの人権集会に参加して、自分の考えや自分自身のことを見つめ直すことができました。この集会では特にLGBTのことについて学べたと思います。私はLGBTという言葉を知ったことはあるけれど、どこか「ひとごと」と思っていました。しかし、話し合いや作文を聞き、考え方が変わりました。もっと身近にいて、もっと真剣に考えなければならぬことに気づきました。学校では言いづらいことも全員が真剣に人権について考えているので発表しやすく、とても良い関係だと思いました。実行委員会や学校でその時その時を本音で語るということが大事だと何度も言っていた理由が少しわかったような気がします。きれいごとではなく、本音で語ることでよりよい人権学習ができるんだと改めて実感しました。ここで学んだことを学校でも伝えていきたいです。

中学校1年 s

私は今日の交流会に参加できたことをとても誇りに思っています。作文発表で主な内容がLGBTと部落差別についてのものでした。正直、LGBTと部落差別は勉強途中で知識はそんなにありません。しかし、主に3年生の先輩方が積極的に発言してくれて、とても考えさせられるような話し合いができて、わからなかったこともだんだんわかってきました。そしていろいろな考えを聞いて私ももっと学ばないといけないと思いました。

この交流会の良いところはいろいろな人権問

題について真剣に語り合えるところと、人の温かさを感じることができる場所だと思います。今日も会場が良い雰囲気です。無事に会を終らせることができました。この交流会は20年以上続いているようで、10年後も20年後もずっとこの声が届くように願っています。

中学校1年 n

僕は、人権を語り合う中学生交流集会を通して、一番考えたことがあります。それは、人は外見だけでは何も分からないということです。僕は、いつも人のことをイメージとして捉えていました。でも話してみないと分からない、ふれてみないと分からないことがあります。だから、あの人はあんな人と決めつけずに、その人と話し合ったり、ふれ合ったりしたいなと思いました。

最後に、僕は人権を語り合う中学生交流集会はとてもいい会だと思うので、これからも続いていけばいいなと思っていますし、僕も続けて参加したいと思いました。

中学校1年 e

僕はこの会に参加したことにより、いろいろな人の心の痛みを理解することができるようになったと思います。参加した皆さんが、意欲的に発言する姿を見て、自分もそのようになりたいと思い発言してみました。そのことで発表する力がついたと思います。これからいろいろな人と信頼関係を築いていき、人の痛みがわかり、さまざまな人を大切にしていける人間になっていきたいです。

中学校1年 a g

私は今まで「何か言われるかもしれない」と思い、言い出せない時がありましたが、この集会に参加して、こんなにみんな温かい心で聞いてくれたことで、自分に自信ができました。私をこの集会に呼んでくれた森口先生にとても感謝しています。この集会に参加したことで、人

生が変わる世界に一步踏み出せたと思います。

中学校1年 a h

私は、部落差別という言葉は何回も聞いたことがあって、一番最初に聞いたのは、小学6年生の時でした。6年生の道德の授業で初めて聞いて、すごく心に響いたのは2つあります。1つ目は、着ている服が汚染めとかじゃないと着てはならないということと、2つ目は、昔、徳島県でも同じようなことがあったということです。このようなことがあったということは、昔の人は、自分が良ければいいという考え方だったのかなと思いました。このことから、私はこの部落差別というものを知って、もしこれが自分の立場だとしたら、私だったら嫌なので、こんなことはもう無いようにして、世の中が、明るく、楽しくなっていったら嬉しいです。

中学校3年 i

今回の「人権を語り合う中学生交流集会21」に参加して、僕は人権に対しての考えがより深まりました。

以前、僕のクラスで人権学習をしたときにクラスメイトの一人が「僕は差別をなくすことは絶対にできないと思います」と断言していたことがありました。その発言に対して、担任の先生は、「その言葉を差別されている本人の目の前で言えるか」と言っていました。

こういう出来事を踏まえた上で、いろいろな学校の方々の意見を聞くと、本当に素晴らしいなあと思いました。機会があればまた参加してみたいです。

中学校3年 j

今回の交流集会是ものすごく自分の考えを深めることができる良い機会になりました。部落差別のことについては、学校の人権の授業で知って、それが引き起こしているたくさんの悲劇を学びました。自分がどれだけ頑張っても生まれた場所は変えられないのに、そのことについ

て周りの人から非難されるのは絶対におかしいことだし、なくしていくべき問題だと思います。

LGBT のことについて深く考えたのは、今回が初めてです。今まで自分の常識の中で、異性を好きになるということは当たり前で、LGBT の人は特殊だと考えていました。しかし、それが大きな過ちであることが分かりました。実際に自分の色を出せずに苦しんでいる人の発表を聞いて胸が苦しくなりました。この会に2回参加して自分の意見をしっかり言えたように思います。

今回の交流会で、差別はなくならないと思う方もいましたが、私は差別はなくなると思います。差別をなくそうと頑張っている人に対して、差別はなくならないという思いが伝わってしまうと、頑張っている人からするとまるで、奈落の底に落とされたような、そんな気持ちになるはずですよ。そういう人たちのためにも、なくなるとマイナスな気持ちになるよりか、なくなるというプラスの気持ちを持つことが大事だと思います。

最後に僕は、吉成先生の、「感情をとまなつて知る」という言葉がすごく印象に残りました。ただ知るだけなら話を聞けばいいが、それに感情が加われば、より深い考えができ、自分の生活にも活かしていこうと強く思えるのではないかと思います。

